



農のふるさと協力隊 奮闘記 6 2

2017年5月発行

奮闘記引き継ぎました

私が協力隊に初めて参加したのは昨年の8月です。

活動を始めてまだ1年もたっていませんが、この奮闘記を担当することとなりました。

前任の大先輩は協力隊が始まった当初からこの奮闘記を担当され、その数なんと61号！です。これを引き継ぐとなると、なにを書いていいのやら、とても悩ましいです。(^^)

メンバーの皆さんからは「好きなことを書いて良いよ」って言っていただいているので 思ったまま、感じたままに書いていこうと思います。 どうそよろしくお願ひいたします。



春の味覚を満喫です

協力隊が景観を守っている棚田では春になると蕨が採れます。今年も沢山取れました。今までは蕨というと、お店で食べる山菜そばに入っているのを食べるくらいでした。お店に売っていても、あく抜きが面倒で敬遠していましたが、自分で収穫したこともあり、とっても美味しくいただきました。一緒に土筆も収穫して、春の味覚を満喫です。



夏野菜の植え付け

春になって雑草も大分増えてきました。除草をして、畑を耕して、いよいよ夏野菜の植え付けが本格化です。

ジャガイモ、なすび、トマト、里芋、山わさびなど、みんなで植え付け頑張りました。

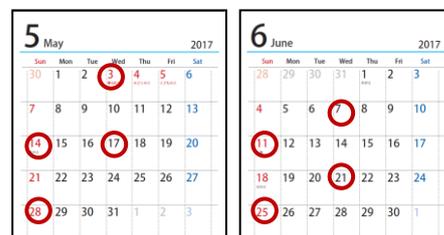


施設のメンテも大忙し

小屋にはった雨よけ用のブルーシートの張り替えや、棚田の移動のためのハシゴ作りも行ないました。

メンバーの皆さん、こんな作業をあっという間にやってしまうなんて凄いです。 みんなの連携プレーも最高にいい感じです。

活動日について



あしがき 《野菜の植え時期》

牛蒡の種は、昔から里にコブシの花が咲く頃に植えつけるそうです。カレンダーで時期を見るのではなく、自然がそのタイミングを教えてくれるって凄いですよね。牛蒡も元気に芽を出しました

